

# 地頭FX会

## 第四期生募集のご案内



西ヤン

# はじめに。

のご案内は、「地頭 FX 会」をスムーズに理解していただくため、物語風に作ってあります。

ですので、できるだけ一気に読み切るようになさってください。

西ヤンの文章は前置きが長いというのは今に始まったことではありませんが、すべて、意味のある内容を盛り込んでいますので、「地頭 FX 会」に参加するしないにかかわらず、楽しみながら、お読みください。

では、参りましょう。

誰かの傘の下で温々と生きる不安定さではなく、  
自分の傘を開いて敢然と生きる安定さを持とう。

もう一度、読んでみてください。

誰かの傘の下で温々と生きる不安定さではなく、  
自分の傘を開いて敢然と生きる安定さを持とう。

パッと見、私は**矛盾したこと**を言ったように聞こえたかもしれません。

まだまだ政治も経済も寒々しいこの時代に、**自分の力で生きていこう!!**と言い放  
っている訳ですから。

例えば、あなたが**結婚**してらっしゃったとしましょう。

幸せな結婚生活を送っているある日、あなたが奥さん（あるいは旦那さん）に

**「チックラ会社を辞めて自分ひとりで生きることにしたワ。**

**そこんところヨロシク。」**

などと言い放つ訳です。

間髪入れずに返す刀で、

**「フザケたこと言っていないで、とっとと会社に行ってください。」**

と怪訝そうな顔した奥さんにいさめられるのが**オチ**でしょう。

なんだかんだ言ってもこの日本では、**「国や会社に依存した人生が、安定感のある人生だ」**と思われている訳です。

だから皆、安定した職業に就こうとする訳です。

だから皆、毎月必ず1回訪れる「給料」のために働く訳です。

# しかし。

チックラここで冷静に考えてみましょう。

**本当にそれは「安定感」のある人生なのか？**

ということ。

2013年は、アベノミクスとやらにより株価は倍近くに上昇し、ドル円も100円を突破しました。

「ひょっとするとこのまま経済が回復するかもしれない。」という、前向きながらどうも**軽々しい空気**が支配しているので、確かに民主党政権以前のような、政治も経済も破綻疲弊落胆した空気は無くなったのかもしれませんが。

ですが、我々の実生活が豊かになる気配なんぞ、  
ひとつつありません。

日銀が金融緩和で、ガンガン輪転機を回して、お金を刷りまくっている訳です。

黒田采配で、日本円の資金量をこれまでの「倍」にしようとしている訳です。

なのになぜ、肝心要の自分のフトコロにまで  
その「お金」が流れてこないのか。

給料が増える気配もまったくありません。

しかし、よく考えればこれも**当たり前**のことです。

仮に景気が回復したとしても給料に反映されるのは先の話です。

企業が時間をかけてギリギリと下げ、あるいはなんやかんや言いながら据え置いてきた

給料を、**そうやすやすと上げるとは思えません。**

また、日銀がどんなにお金を刷っても、そのお金は市中銀行が日銀に預けている当座預

金に入っているだけで、そのおダブついたお金は**国債に化け、そして株式に化け**

ていきます。

2013年の6月に日本の借金（国債）は1,000兆円を超えました。

一部、日本の借金は国内で消費しているために、この借金は「大丈夫!!全然 OK!!」  
という意見もあるようですが、いやいやいやいや、ちょっと冷静になって考えてみ  
てください。

## 普通に考えれば「あり得ない」話でしょう。

わずか「45 兆円」の歳入に対して借金が「1,000 兆円」って。

嫌がる人がいるでしょうが、わかりやすいので言ってしまうですが、「450 万円」の年  
収の人が「1 億円」の借金をこさえている訳です。

繰り返しになりますが、普通に考えれば「あり得ない」話です。

百歩譲って仮にそれが「問題ない」としても、結局のところ、お金が経済に回っていか  
なくては意味がありません。

刷られたお金が株式に流れれば、**株価はまだまだ上がる**かもしれません。

事実、ジャンジャカ刷られたお金が株式に流れているフシはあります。

しかし、**企業の業績が上がってもいなのに、株価が上がることに違和  
感を覚えませんか？**

実態よりも明らかに**過大評価**されている訳です。

**どこかで株価の「沸点」を迎え、株価が暴落することは想像に難くあ**

りません。

その時、企業はどんな行動に出るのか。

更に、今年の4月に**消費増税が導入**されます。

来月です。

来月に消費税は8%になる訳です。

一番わかりやすい**景気減退要素**です。

国も企業も、次々に経験もしたことのない苦しい局面に瀕しています。

「今までは当たり前だ」と思っていたことが、次々に「当たり前ではなくなってきました」。

事ここに至っても、まだあなたは「**国や会社に依存した人生が、安定感のある人生だ**」と思いますか？

「日本で暮らしていること」

「大きな企業に勤めていること」

「正社員でいること」

これが、人生の安心材料になる訳が無いのです。

「毎月 25 日の給料日を軸に全ての物事を考える人生」

「とりあえず会社にたどり着けば給料がもらえる人生」

「周囲を見渡してまだ大丈夫そうだから大丈夫だと考える人生」

「自分より状態の良くない人を見つけてとりあえずホッとする人生」

こうした依存心が、今後の人生にどんな結果をもたらすのか、想像するだけで恐ろしい訳です。私は。

だから私は、

誰かの傘の下で温々と生きる不安定さではなく、  
自分の傘を開いて敢然と生きる安定さを持つ。

と嫌われようと何度も何度も言うのです。

さて。



もしあなたが、自分の力で生きようと決心したとしても、ただ黙って座っていても何も変化は訪れません。

**まずはバットを振らないといけない訳です。**

ご存知の方も多いと思いますが、私、西ヤンは、「地頭 FX 会」という、FX トレードの塾を運営しています。

「地頭 FX 会」の一番の**目的**は、

「いつでも」「自分の力で」「サラリーのように」  
相場から利益を得ることができ、その結果、  
「E（従業員）」から  
「S（事業主）」への移行を果たせるトレーダーとなること

です。

「E」から「S」への移行を自由に果たせるトレーダーになっていただくために、FXの裁量トレードを通じて、正しい思考と稼げる手法を身につけていただくための塾として「地頭 FX 会」を運営しています。

大事な点は「サラリーのように」という点です。

これは、

「サラリーマン」が「会社」から

「安定的」に「お給料」をいただくかの如く、

地頭FX会では、

「トレーダー」が「相場」から

「安定的」に「利益」をいただくことを

一番の目的としているということを言っています。

あたかも「サラリー（つまりはお給料）」のように、

「会社（＝相場）」がある限り、

「お給料（＝利益）」を得てしまおうというのが

「地頭FX会」の目的な訳です。

例えば、仮にあなたがトレーダーとして、お金を稼げる「腕」を身につけたとしましょう。

しかし、あなたの半年間の収支が、

・1ヶ月目が「+100万円」

・2ヶ月目が「 -80万円」

・3ヶ月目が「 -60万円」

・4ヶ月目が「 0万円」

・5ヶ月目が「+250万円」

・6ヶ月目が「 -10万円」

・・・という収支だったらどうでしょうか。

この半年間を合計すると、確かにあなたは「+200万円」を得ていますが、毎月の収支がここまでデコボコしているのは、とても安定しているとは言えません。

残念ながら、「サラリー（お給料）」のように、相場から利益を得ているトレーダーとは言えず、言葉は悪いですが、「勢いばかりの向こう見ずなトレーダー」と言わざるを得ません。

少なくとも「地頭 FX 会」ではこのようなトレーダーを、「E から S」への移行を果たした人間とは考えません。

そうではなくて、

- ・ 1 ヶ月目が「+30万円」
- ・ 2 ヶ月目が「+30万円」
- ・ 3 ヶ月目が「+30万円」
- ・ 4 ヶ月目が「+30万円」
- ・ 5 ヶ月目が「+30万円」
- ・ 6 ヶ月目が「+30万円」

で、半年間の収支合計が「+180万円」を目指す。

これこそが「サラリー（お給料）」のように、相場から利益を得ているトレーダーで、

**「E」から「S」への移行を果たしたトレーダー**である訳です。

上記のデコボコトレーダーよりも半年間の利益は少ないですが、安定感はバツグンです

ので専業トレーダーになりやすいでしょう。

「地頭 FX 会」が狙うのは、まさにこの「後者」の収支の安定性が高いトレーダーです。

決して大きな収益ではなくても良いのです。(もちろん大きな収益も狙えます。)

これまでの「会社」が「相場」となり、

これまでの「給料」が「利益」となる。

「毎月 25 日に」「安定的に」「一定のお給料」を、相場があなたに支払って  
くれるようなトレード方法を叩き込む。

これが「地頭 FX 会」の軸となる考え方です。

だから、2012 年末からのアベノミクス?による円安相場のような、素人でも利益をあ  
げやすい相場で、「大きな勝ち」を得ることもなければ、そのアベノミクスの  
最中の 2013 年 5 月 23 日に発生した、日経平均の大暴落に伴う為替変動で、「大き  
な損失」を被ることもありません。

その代わりに、**実に安定した利益を運んでくれる。**

これが、「地頭 FX 会」が目指す「域」です。

誤解の無いようにお伝えしておくと、相場には日々大なり小なりトレンドが発生し、その値動きによる為替差益を我々は得ています。

したがって、「地頭 FX 会」が、トレンドとは一切関係ないということはありません。

そういうことではなくて、**世界経済や政治の動きに翻弄されることなく、「サラリーのように」毎月安定して利益を得ることを目的としている**のが、「地頭 FX 会」だをご理解ください。

## ●どのような手法なのか？

---

「地頭 FX 会」において、あなたにお伝えする手法を理解する上でのひとつのキーワードをお伝えすると、

**「勝てないトレードを無くす。」**

がひとつの課題になります。

チャートに現れる全ての相場を細かくマトリクス化し

**トレードして良い相場**

**トレードしてはダメな相場**

を明確に分類します。

そして、「トレードしてはダメな相場」を、「**裁量トレード支援ツール**」

を利用した相場把握により「**徹底的に排除**」し、その中でわずかに残った「トレードして良い相場」にのみ、トレードをします。

(ちなみに、地頭 FX 会の「裁量トレード支援ツール」は、特許出願を検討しているくらいのもので、他では絶対に存在し得ないツールです。)

後述する講師のHさんは言います。

**「トレードで利益を残すためのアプローチは 2 種類ある。」**

1 つは『勝ちを増やしまくる』こと。

1 つは『負けを極限まで避ける』ことだ。」

と。

一見、「勝ちを増やしまくる」の方が良さそうに見えますよね？

相場に向き合っているとわかりますし、また、世の中に様々なトレードのロジックが溢れているのを見ても一目瞭然でわかるのですが、「勝てるロジック」というのは、捻り出そうと思えば、いくらでも捻り出せたりします。

## しかし。

実際のところはこの「勝てるロジック」ってのが厄介で、「勝ち」を増やせば増やすほど、そこに「負け」がくっついて来てしまうのです。

この原理、おわかりでしょうか？

「地頭 FX 会」は、「勝ち」を増やすことを行いません。

すなわち「勝ち」を増やすのではなく、「負け」を減らすことを行います。

「負け」を極限まで減らすことができれば、あとは勝つだけなのは自明の理。

「地頭 FX 会」はこうした考え方に則っています。

「地頭 FX 会」が狙うのは、**トレンドを利用した「押し買いと戻り売り」**です。

あなたもご存知のとおり、「押し買いと戻り売り」は、そこにマーケットが存在する限り、**必ず発生するもの**です。

だから、**手法が廃れてしまうという概念はそもそも存在しません。**

「E（従業員）」から「S（事業主）」への移行を果たしたあなたが、マーケットが存在する限り、何年も何十年も利用し続けることができるトレード手法な訳です。

ちなみに、この**「押し買いと戻り売り」を見つける**のは、地頭 FX 会の参加者さんであれば**超簡単**です。

地頭 FX 会でご提供する「裁量トレード支援ツール」を利用すれば、**ほぼ 100%の割合で見つけることができる**からです。

ゆえに「裁量トレード支援ツール」を利用すれば、チャートを必死に見て「押し買いと戻り売り」を見つける必要はありません。

地頭 FX 会のひとつの結論は**「『押し買いと戻り売り』を見つけるのはコンピューターに完全に任せる。」**なのです。



## 重要なのは、この先。

つまり、コンピューターが見つけた「押し買いと戻り売り」が本当に反発するのか？です。

この「本当に反発するのか？」を判断する「力」を、地頭 FX 会では「**相場把握をできる力**」と呼んでいます。

この大事な「相場把握」をするために、地頭 FX 会では「**7 つの条件**」をルール化し、そのルールを元に「押し買いと戻り売り」が反発するかどうかを判断します。

もちろん、この相場把握のための 7 つの条件をチェックする上でも、地頭 FX 会の「裁量トレード支援ツール」が相場の状態をチェックするために活躍しますが、**最終的な相場把握は、トレードする人間が行います。**

つまり、「地頭 FX 会」では、

「**機械に任せられる部分**（押し買いと戻り売りの抽出）」は、完全に「**機械**」が行い、

「**機械に任せられない部分**（押し買いと戻り売りが反発するかの判断）」は、半分（相場の状態チェック）は「**機械**」が、残りの半分（相場把握）は「**人間**」が行うというイメージです。

決して「裁量ツール」が全てを解決してくれる「魔法の機械」では無いことをご理解ください。

余談ですが、そもそもこの世の中に「魔法の機械」なんて存在する訳がありません。

それでも世の飢えたトレーダー候補の人々は、「魔法の機械」を探して無駄金を吐き出します。

「青い鳥」を探し続ける「チルチルミチル」のように。

「宝島」を探し続ける「ジム・ホーキンス」のように。

「徳川埋蔵金」を探し続ける「水野一族」のように。

あなたの胸にそっと手を当てて、思い出してください。

「サイン通りに売買すれば勝てませ!!」などと、何とも根拠の無いうたい文句で飾られている「裁量ツール」の数々を。

そうです。

サインを拾って売買したところで、勝てる訳がありません。

あくまでもトレードをするのは「人間」。

主人公は、他ならぬ「あなた」なのです。

その裁量ツールが、どんなサインを拾っているのか？

その拾ったサインをどうフィルターをかけて売買に結びつけるべきなのか？

こうした、基礎基本をキチンと理解した上で「裁量ツール」を活用しなくては、そんなツールは**無用の長物、鉄の塊、魂の抜けたサイダー**な訳です。

**ツールは「自転車」の「補助輪」に過ぎないのです。**

しかし、自転車を乗りこなすためには、いきなり二輪で走るよりも、よほど補助輪があった方が走りやすい訳です。

つまり、**ツールを正しく有効活用すると、トレードの効率化が計れますし、正確さが増しますし、結果、「早く」勝ちやすくなる**・・・という訳です。

まとめますと、「地頭 FX 会」は、最高の「裁量トレード支援ツール」と、そのツールの正しい活用方法を教えることで、**あなたが「裁量トレード支援ツール」を利用して正しく相場把握をし、常勝トレーダーにするための、「教育機関」である**とご理解ください。

さて、今回の募集は「地頭FX会」の「第四期生」の募集となります。

地頭FX会の「裁量トレード支援ツール」は、期を重ねるごとに進化してきましたのですが、実は、ここまで長々と説明してきた部分「まで」は、実は、第三期生までの皆さんにお配りした「裁量トレード支援ツール」となります。

今回の「第四期生」の募集においては、地頭FX会の「講師」兼「開発者」であるHさんが、更なる進化をさせてくれました。

それが、「相場目線インジケータ」です。

(地頭FX会の「裁量トレード支援ツール」に新たに組み込まれました。)

これにより、相場の大きな方向性と勢いの把握が可能になり、「半強制的」に「全体的な相場把握をさせる」ことができるようになりました。

地頭FX会も規模が大きくなってきましたので、「稼げるようになった人」「そうでない人」が出てきています。

裁量トレード支援ツールを利用しても、なかなか利益をあげられないという方の話を聞いてみますと、どうも、「相場を眺めているだけ」という方が多いのだと気づかされました。

「相場を眺めているだけ」では、裁量トレード支援ツールがどんなに「押し買いと戻り売り」を拾ったとしても、勝つことが遠のきます。

勝つためには、**正しく相場把握をしなければならぬ**のです。

繰り返しになりますが、「相場を把握する」とは、チャートが上がったり下がったりを、ただただ追うということではありません。

これでは単に「相場を眺めているだけ」です。

ではなくて、

**その相場が「勝ちやすい相場」なのか、**

**あるいは「リスクのある相場」なのか**

これを**把握すること**が必要な訳です。

そして、この相場把握ができるからこそ、

**「買い」か**

**「売り」か**

**「何もしない」か**

を**適切に判断できる**という訳です。

意識して相場を見ていると、

人によっては、自然にわかってきたり、

人によっては、ある時、ハッと気づいたり、

と、**相場把握ができるキッカケはそれぞれ**だと感じます。

しかし、繰り返し相場を見ているのに、

なかなか気づかない。

なかなかわからない。

・・・という方もいらっしゃいます。

こうした、第一期生から第三期生までの参加者様のご意見や状況を汲みあげた上で、Hさんが数ヶ月を費やして開発したのが、「相場目線インジケータ」だという訳です。

この「相場目線インジケータ」の一番の目的は、**相場の大きな方向性と勢いを把握することにより、「半強制的」に「全体的な相場把握をさせる**」という点にあります。

「相場目線インジケータ」を利用して、目線を固定させ、相場把握をさせる。

荒っぽくもわかりやすい言い方をすると、**「稼いでいるトレーダーが、いったいチャートのどこを見ているのか？」を半強制的に追える**・・・という訳です。

この「相場目線インジケータ」の登場により、これまで相場把握に時間がかかった人は、この「時間」が圧倒的に短縮されます。

余談ですが大事な話をします。

「相場目線インジケータ」が加わった、現在の「裁量トレード支援ツール」ですが、講師のHさん曰く、

**「これで自分のトレードの75%が再現できるようになった。」**

とっていました。

もちろん、100%ではありません。

プロのトレーダーのコピーをいきなり100%できるというサービスがあれば、それはまず疑うべきだと思うのですが、それはさておき、**講師のHさんが「6年間」をかけて身につけたものを、わずかな期間で「体現できる」ようになった**訳です。

これ以外にも、第四期生にご提供する「裁量トレード支援ツール」は、飛躍的にポテンシャルが向上し、

- ・ **トレンドの方向性と勢いを大きく捉える**
- ・ **エントリー**
- ・ **決済（エグジット）**

を、「**総合的に**」サポートするためのツールとなったのですが、これ以上をお伝えすると情報過多になってしまいますので、ここまでとします。

開発者のHさんが、トレードをしながら行っている、「こうした方が良い」「ああした方が良い」という細かな微調整という進化は、実際に「裁量トレード支援ツール」を利用しながら感じていただければと思います。

地頭FX会について、具体的な点について掘り下げます。

「裁量トレード支援ツール」の**対象通貨ペア**は、

- ・ EURUSD
- ・ USDJPY
- ・ AUDUSD

の3つの通貨ペアとなり、**5分足に対応**します。

**トレード時間ですが、1ヶ月間を訓練期間とし、その1ヶ月間は「18時～24時」をトレードに充ててください。**

もちろん、毎日お忙しく、物理的に難しい方もいらっしゃると思いますが、相場に向き合う時間が、トレード力の向上につながると考えて間違いありません。

相場に向き合う時間が短ければ、その分、身につけるまでに時間がかかります。

逆に、相場に向き合う時間が長ければ、その分、身につけるまでに時間がかかりません。

**損切り値は「10Pips」**に対し、

**利食い値は「10～20Pips」**に想定しています。



Hさんが地頭 FX 会当初に公開した、2012 年の 7 月から 10 月の「1 ヶ月あたり」の  
パフォーマンスは、

- ・ **勝率 : 75%~85%**
- ・ **利益 : \$2,500~\$3,500 (元本は\$5,000)**
- ・ **ロット : 1.0**

となっています。

その後もだいたい同様だとお考えください。

(むしろ「裁量トレード支援ツール」は進化をしているので、その分、パフォーマンス  
の上積みがあるかも知れません。)

なお、リアルトレードにおける**元本は「\$5,000」**を推奨しています。

## ●誤解していただきたくないこと

---

ここまでのご案内で、「地頭 FX 会」がどんなところを目指しているのかをご理解いただけてきたと思います。

何度でも言いますが、地頭 FX 会の目的は、

「いつでも」「自分の力で」「サラリーのように」  
相場から利益を得ることができ、その結果、  
「E（従業員）」から  
「S（事業主）」への移行を果たせるトレーダーとなること

です。

その**最短距離**をご提供できる「**教育機関**」が、**地頭 FX 会**です。

もちろん、「地頭 FX 会」で教える「相場把握」を身につけ、利益をあげるためには、  
**愚直な訓練が必要**です。

しかも 1 日とか 2 日とかの訓練ではなく、少なくとも 1 ヶ月間は、毎日、相場に向き合っ  
ての訓練が必要です。

(1 ヶ月は相当な「**短期間**」だをご理解ください。)

第一期生、第二期生、第三期生の皆さんの結果がすべてを物語っていますが、

**愚直に学び、トレードに取り組んだ方は、見事に結果が結びついてきています。**

厳しいことを言うようですが、相場は常に一定であるはずがありません。

テクニカルチャートがいつも同じチャートを形成してくれるのであれば、それこそ何も悩まなくても良いのですが・・・、**そんなことがある訳がありません。**

**相場に同じ答えなど、二度と現れないのです。**

でも、どうしても多くの方が「 $5 + 5 = ?$ 」のような、わかりやすい「答えを知ろう」として、その答えを教えてくれる、キラキラとした魔法のような「**裁量ツール(青い鳥)**」を、**チルチルミチルよろしく**探している訳です。

仕掛ける側、販売する側の論理であれば、そりゃあ「**簡単に稼げませ!!**」やら「 **$5 + 5 = 10$ みたいに答えはひとつでっせ!!**」やらと謳った方が、さぞかしツールはたくさん売れるでしょうから、**彼らはエライ勢いで稼げるでしょう。**

一見、**ツールが全ての答えを出してくれる感じ**なのですから。

でも、そのツールを利用する、どれだけの人間が稼げるようになるのか。

「E（従業員）」から「S（事業主）」への移行が果たせるのか。

相場はそんなに素直ではありません。

相場はそんなにわかりやすくはありません。

相場はいつも変化しているのです。

ですから、相場に向き合う時の頭の中は、「 $5 + 5 = 10$ 」を求めるのではなく、

「 $10$ 」を出すためには、「 $1 + 9$ 」「 $2 + 8$ 」「 $3 + 7$ 」「 $4 + 6$ 」「 $5 + 5$ 」のように様々な導き出し方が存在すること、変化し続ける相場に向かうのであれば、そういう導き出し方を熟知した上で相場に挑まなくては勝てないことを理解しなくてはなりません。

こうした相場での「戦い方」を、

「裁量トレード支援ツール」という「強力な武器」と、

「相場把握」への「考え方」を揃えて

総合的に教えるのが、「地頭FX会」だという訳です。

## ●地頭 FX 会の講師のご紹介

---

大事なお紹介が遅くなりました。

「地頭 FX 会」の講師「Hさん」をご紹介します。

何を隠そうこのHさんが「地頭 FX 会」の考え方を提唱し、相場把握の基礎基本となる「裁量トレード支援ツール」を開発し、勉強会の「講師」も行います。

ちなみに、「地頭 FX 会」でご提供するのとは、

- (1) 相場把握に必携の「裁量トレード支援ツール」
- (2) 「裁量トレード支援ツール」の活用と相場把握のための勉強会
- (3) 相場把握練習のための動画配信
- (4) サポート全般

の4つがメインとなります。

そして、

- (1) のツールを開発し
- (2) の勉強会の講師を勤め
- (3) 相場把握練習のための動画を作成し、
- (4) のサポートを行う

のがHさんという訳です。

西ヤンはバックエンドからフォローをさせていただきます。

講師のHさんは、大手総合電機メーカーの関連会社の役員まで勤め上げた方で、現在は引退なさり、**トレードを中心とした生活**を送ってらっしゃいます。

Hさんの根底にあるのは、**「FXは自活ができる最有力の方法である」**という考え方。

そして、**老若男女問わず、**

「雇用される側 = E（従業員）」から、

「雇用されることなく自らが稼ぐ側 = S（事業主）」へ、

**FXの裁量トレードを通じて脱出すべき**であると言っています。

・ ・ ・ **ここ、重要な点です。**

今、私がお伝えした「E（従業員）」から「S（事業主）」への脱出を強く推奨しているのが、先日まで、「E（従業員）」をまとめている「**雇用する側の人間**」だった方な訳です。

大手電機メーカーの関連会社の役員だった方が、**サラリーマンという「軸」だけで生きる「危機感」を大いに感じてらっしゃる。**

雇用する側の人間が、雇用されている側の人間に対し、「それだけじゃヤバいだろ」と声を大にして言っている訳です。

このような、Hさんの「考え方」の基礎があるからこそ、何度も申しますが「地頭 FX 会」の一番の目的は、

「いつでも」「自分の力で」「サラリーのように」  
相場から利益を得ることができ、その結果、  
「E（従業員）」から  
「S（事業主）」への移行を果たせるトレーダーとなること

なのです。

こうしたHさんの考え方は、まさに私西ヤンの考え方と「バチリ」とはまり、私の方から、

「Hさんが開発した『裁量トレード支援ツール』を、西ヤンの読者様  
にご紹介させていただきます!!!」

と懇願し、

「ツールだけではなく『考え方』が重要なので、それを伝える勉強会  
とセットでならば。」

と快諾をいただき、Hさんと西ヤンの「地頭 FX 会」が始まった訳です。

これが、2012年の11月のことです。

これまでに、

2012年の11月に「第一期生」

2013年の3月に「第二期生」

2013年の6月に「第三期生」

を開催してきました。

第一期生から第三期生で、**総勢85名**の参加者さんがいらっしゃいまして、日々、ト  
レードに勤しんでいらっしゃいます。

そして今回の募集は、**およそ9ヶ月ぶり、満を持しての「第四期生」の募  
集**となります。



## ●地頭 FX 会の第四期生の募集要項

---

地頭 FX 会の第四期生には、原則的に、「3/29 (土) [東京]」か「4/5 (土) [大阪]」の参加が前提となります。

しっかり「勉強会」に参加していただいて、「裁量トレード支援ツール」の利用方法を学んで欲しいという、ツールの開発者であり、地頭 FX の講師である H さんの思いからです。

「勉強会」は、午前から午後まで、一日を掛けて徹底的に、地頭 FX 会の考え方と「裁量トレード支援ツール」の活用についてを学んでいただきます。

わずか一日ですが、「裁量トレード支援ツール」の性能が非常に高いので、学びはそれで十分です。

あとは、あなた自身の実践トレードあるのみです。

参加者の人数の上限は、**両会場とも原則「25 名まで」**となります。

これは、H さんのサポートの限界を「25 名まで」と見ているためで、このツールを利用する人が増えると、効果が薄れるとかいうショウムナイ話しはしません。(そんなことはまったくありません。)

**参加する上で必要な条件は「愚直」であることと「素直」であること。**

そして「FX 取引の経験者」であることと、「MT4 の基本的な知識（インストール、操作）」があること。

FX 取引の経験は、裁量、自動売買などは問いません。

少しでも FX 取引を行ったことがあれば OK です。

では、次ページに、募集要項をまとめましたので、ご覧になってください。

# 「地頭 FX 会」 第四期生 募集概要

## ■ 目的

「いつでも」「自分の力で」「サラリーのように」相場から利益を得ることができ、「E から S への移行を果たせるトレーダー」となることを目的とする。

## ■ ご提供するもの

- 地頭 FX 会の講師である H さんが開発した裁量トレード支援ツール
  - ◇ 対象通貨ペア：EURUSD / USDJPY / AUDUSD
  - ◇ 無償、無期限の貸出
  - ◇ 口座縛り等はありません
  
- 地頭 FX 会の考え方を学ぶための勉強会
  - ◇ 東京会場か大阪会場のいずれかにご参加いただけます
  - ◇ 相場把握練習のための動画配信
  
- 1 ヶ月間のサポート
  - ◇ 各勉強会当日より 1 ヶ月間となります
  - ◇ H さんが直接サポートを行います
  
- 地頭 FX 会ご参加特典

現段階では、まだお伝えできませんが、現在の裁量トレード支援ツールが進化した場合は、無償ないしは大幅な値引き価格でご提供させていただきます。

## ■ 募集人数

原則、全員で50名となります。

希望者が多い場合は、厳正に審査させていただきます。

下記、東京、大阪のいずれかの会場への参加となります。

東京会場（3/29）：25名

大阪会場（4/5）：25名

## ■ 参加条件

以下の条件を満たす方にご参加いただけます。

- FX取引の経験がある方
- MT4の基本的な知識（インストール、操作）がある方
- 1ヶ月間はトレード時間を18時～24時に確保できる方  
16時からであればなお可
- 1ヶ月間の訓練中は毎日確保していただきたいです（希望）
- 学んだことを愚直に学び、愚直にトレードできる方
- 自分の力で問題解決をする素養がある方  
（わからないことを何でもホイホイ質問されない方）
- 依存心が高い方はご遠慮ください
- 利益もあげられない自分の手法を捨てられない方はご遠慮ください
- その他、裁量支援ツールのブラッシュアップのお手伝いや、今後、講師やサポートのお手伝いをしてくださる方を優先します。

## ■ 今後のスケジュール

3/3（月）：募集締め切り

3/5（水）：参加者発表

3/29（土）：東京での勉強会開催

4/5（土）：大阪での勉強会開催

東京および大阪での勉強会で、「地頭 FX 会の考え方」「裁量トレード手順」「裁量支援ツールの利用方法」などの全てを説明します。

勉強会は、10時半受付開始で11時から開始する予定です。（予定）

その後、18時ごろから懇親会を予定しています。（希望者のみ）

※懇親会は、参加者実費となります。

## ■ 参加費

20万円

- お支払いは銀行振込のみとなります。
- 2回までの分割支払いに対応しています。（10万円×2回）

この参加費には、

- 3/29 あるいは 4/5 の勉強会参加
- 裁量トレード支援ツールの期限無しでの無償貸出
- 相場把握練習のための動画配信
- Hさんによるサポート（1ヶ月間）

の全てが含まれます。

また、あくまでも可能性の話ではありますが、今後、Hさんが開発なさったツールやサービスを、無償ないしは大幅な値引き価格でご提供させていただきます。

■ お申し込みは下記よりお願いします

⇒ [地頭 FX 会の第四期生へのお申し込み \(3/3 締切\)](#)

なお、参加会場の希望欄についてですが、「参加会場の第一希望」と「参加会場の第二希望」が、それぞれプルダウンで選択できるようになっています。

できるだけ多くの方にご参加いただけるよう、可能な限り「参加会場の第一希望」と「参加会場の第二希望」の双方に希望会場を選択してください。

(そうしていただけると本当にありがたいです。)

とは言え、お仕事などのご都合もおありの方もいらっしゃると思いますので、東京か大阪のいずれかしか参加できない方は、「参加会場の第二希望」のプルダウンメニューで、「第一希望の会場のみ参加可能」を選択してください。

## ●おわりに

---

この「地頭 FX 会」のご説明資料の冒頭でご案内したことを今一度繰り返します。

誰かの傘の下で温々と生きる不安定さではなく、  
自分の傘を開いて敢然と生きる安定さを持つ。

これを目指す意味は、ここまでお読みいただいたあなたには、十分おわかりいただけた  
と思います。

**もはや我々は、自分の人生を他人に預けている場合ではありません。**

自分の人生は自分がしっかりとコントロールしておかなくては、イザと言う時に「**自分すら守れない自分**」という悲しい自分に成り下がってしまう訳です。

ひとつだけあなたに質問をさせてください。

**あなたに今、稼ぎをもたらしている「傘」が無くなったら、  
次にどんな「傘」があなたを助けてくれますか？**

少しだけ想像してみてください。

国？

会社？

年金？

宝くじ？

親の遺産？

昔、集めた古切手？

育てた会社の売却益？

友人？

親戚？

兄弟？

親？

嫁さん？

旦那さん？

あなたのことを全力で助けてくれる「何か」がすぐに想像できるのであれば、あなたに「地頭FX会」は必要無いかも知れません。

少なくとも、人生に対する余計な不安は存在しないでしょう。



# しかし。

そんな「傘」が無いのであれば、

## 自分で「傘」を作らなくてはなりません。

ここまでの私のご案内でご理解いただけたと思いますが、**地頭 FX 会で「愚直に素直に取り組めば」結果は出すことができる**ようになります。

逆に、**愚直にも素直にも取り組めない方は、絶対にお勧めできません。**

間違いなく、お金と時間の無駄だからです。

また、**依存心が高い方も、申し訳ないのですがこちらからお断りさせていただきます。**

「地頭 FX 会」は、お金を払ったら、手取り足取り教えてくれるタグイの優しげなトレード塾的なモノではありませんし、そうした過保護な塾をご希望の方は、別のところをお探しになってください。(あればの話ですが。)

私は、手取り足取り教えることを第一義とした、**脳が劣化するような塾などはご紹介しませんし、運営もしません。**

地頭 FX 会で結果を出された方がすべて物語ってくれていますが、自分で学ぶという強い決意と自己責任が重要です。

思考停止を奨励するようなパターン化されたものを求めるのではなく、臨機応変かつ自己自立の戦略を重視します。

そうです。

強い決意と自己責任をお持ちの方には、全力で答えを出してくれるのが「地頭 FX 会」です。

すぐにでも「E（従業員）から S（事業主）」に移行したい方向けの、超実践的なトレード塾とご理解ください。

よけいな話ですが、「地頭 FX 会」は、母数をかき集めて、母数の原理でその中でわずかに勝てる人を見つけ、それを実績として煽るような塾ではありません。

我々は、少ない母数であっても、全員成功させることを第一義としています。

さあ、

一生、自分の立場がどうなっても大丈夫だと言い切れるトレード力を身につけよう。

一生、自分の家族を守れる力を身に付けよう。

自分ひとりで生きるていける力を身に付けよう。

目を閉じて、自分の傘を開いて自分の力で生きている、そんな自分を想像してみてください。

「地頭FX会」で、あなたにお会いできることを心より楽しみにしております。

⇒ [地頭FX会の第四期生へのお申し込み（3/3 締切）](#)

西ヤン

下記は、これまでに地頭FX会にご参加になった方々です。

顔出しがNGの方もいらっしゃいますので、ボヤッとしているのはご容赦ください。

地頭FX会 第一期生 (2012年11月18日)



地頭FX会 第二期生 大阪会場 (2013年3月9日)



地頭FX会 第二期生 東京会場 (2013年4月6日)



地頭FX会 第三期生 東京会場 (2013年6月22日)



地頭FX会 第三期生 大阪会場 (2013年7月6日)

